

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	馬込ここわ保育園
法人名	株式会社ディアローグ
法人所在地	東京都渋谷区渋谷3-8-22 渋谷第一生命ビルディング7階

2. 活動のテーマ

<テーマ>

当園が開園以来継続して行っている教育活動の中の【英語】を活かしながら【ことば】についての探究活動を実践し、非認知能力の向上等の保育内容の充実を図ります。

<テーマの設定理由>

当園は開園以来、外国人講師が週2日来園し、英語で子どもたちと接してきました。レッスンでは保育者も生徒として園児と一緒にレッスンを受け、園児に寄り添ってきました。このように当園では、英語が園児にとって身近な興味となっていることから英語のみならず、韓国語、マレー語など他言語、普段話している日本語も含めて「ことば」をテーマとして設定しました。



2. 活動スケジュール

【問い】乳児が、週2日來園する英語講師が自分たちに話しかけることば（英語）と保育者や保護者が発することば（日本語）とを区別しているのだろうか？

【流れ】英語講師の來園日には、英語の歌を歌ったり、英語絵本の読み聞かせなどを行い、保育者は子どもたちと一緒に参加します。また自由遊びの時間に保育者が日本語絵本の読み聞かせをする際、英語講師は子どもたちと一緒に参加します。このように、子どもも大人も一緒に英語と日本語ということばを共有します。発話が難しい乳児も日本語、英語の音を聴きことばを共有します。

【探究活動の実践と記録】英語活動の際には保育者が記録し、日本語活動の際には保育者とともに英語講師も記録し、特に子どもが英語を発している際のことばや音の聞き分けを担当しました。

* 読み聞かせ：英語絵本は外国人英語講師が読み聞かせ、日本語絵本は保育者が読み聞かせます。

* 歌：英語の歌は外国人英語講師が歌を歌い、日本語の歌は保育者が歌います。

* 手遊び歌：英語の手遊びは外国人英語講師が英語で行い、日本の手遊び歌は保育者が行います。

【振り返りや共有】毎月月末に英語講師と職員のブリーフィングをおこなっているので、そこで探究活動の共有を行い、次月の問いを考え環境設定や探究活動のスケジュールを話し合います。保育者同士は職員会議で振り返りや共有を行います。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【環境設定】英語講師の來園日に探究活動を行うよう環境を設定しました。

【素材】

* 同じ作者の日本語と英語の絵本：エリックカールの「はらぺこあおむし」と"The very hungry caterpillar"

* 同じ手遊び歌の日本語バージョンと英語バージョン：「グーチョキパーでなにつくろう」と"Rock scissors paper finger play"

* 同じメロディの日本語の歌と英語の歌：「きらきらぼし」と"twinkle twinkle little star"



4-①. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>①「はらぺこあおむし」日本語絵本の読み聞かせ

*2歳児クラス：保育者が「はらぺこあおむし」のCDを使用して読み聞かせを行った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

大きな絵本を見て、「すごい！」と感激。一緒に歌いながら、音楽に合わせて身体を揺らしながら見ていた。りんごを見て「アポー！（apple）」、いちごを見て「ストロベリー！（strawberry）」と言う子がいた。フルーツの数に合わせて指を同じ数だけだしていた。あおむしが小さい画面では、「ここにいるよ」と教えてくれたり、あおむしが泣いていると泣く真似をしたりお腹がいたくなるとお腹をさすったりと場面に応じて反応していた。お腹の具合が良くなると、子ども達も笑顔になり、また蝶が出てくる場面では近づき顔を合わせて楽しみにしていた。最後の蝶の場面で英語講師に何？と問われるとみんな「batafurai(butterfly)」と答えていた。



4-①. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>①"The very hungry caterpillar（はらぺこあおむし）"英語絵本の読み聞かせ

*2歳児クラス：英語講師が英語で"The very hungry caterpillar（はらぺこあおむし）"を読み聞かせる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

始めは絵本に集中して声も出さずに見ていた。果物の場面では、英語講師が「One・Two・Three……」と数を数えていくと、子ども達も一緒に「One・ツー・スリー……」と言っていた。

また、さなぎから蝶に変わった場面では、「butterfly」と発音すると子ども達も「batfurai(butterfy)言い英語講師が蝶の場面を見せながら絵本を動かし飛んで行く動作をしながら「bye bye butterfly」と発音すると子ども達も「bye bye」と手を振っていた。



5-①. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】2歳児クラスは英単語に興味がある子が多くいるため、日本語での「はらぺこあおむし」でも絵がでてくると英単語でいう子が多くいた。従って英語でもみんな集中して絵本を見ていた。また、言葉に敏感で英語講師の発音を真似ていた。ただその発音は、日本語の発音の英語単語になっている。

【次回への問い】絵本ではなく、素材を変えて例えば手遊び歌だったら子どもたちの反応はどのようなになるのだろうか？

4-②. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>②「ぐーちょきぱーでなにつくろう」日本語で手遊び歌を歌う

*2歳児クラス：保育者が日本語で手遊び歌を歌いました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

日本語で手遊びを始めると右手をパーで左手もパーの時にちょうちょうの真似をしながら、英語講師が「BUTTERFLY」と言うと発音を真似しながらいう子どもいた。チョコキとチョコキでカニさんになると、両手を顔の横に向けチョコキチョコキとする姿があった。「カニ」を英語で「CRAB」と発音すると子ども達も真似して「バタフライ」「クラブ」と言い英語講師から、「VERY GOOD」「GOOD JOB」と言われ笑顔になっていた。



4-②. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>②"Rock scissors paper finger play(ぐーちょきぱーでなにつくろう)"英語で手遊び歌を歌う

*2歳児クラス："Rock scissors paper finger play(ぐーちょきぱーでなにつくろう)"英語で手遊び歌を歌う

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

リズムは日本語と同じだが、初めは戸惑い講師のしているのを見ているだけが多くいた。何度が行ううちにわかってきて、「Buttefly」「Helicopter」と英語で発音しながら行っていた。

また、講師や保育者に「GOOD JOB」と言われるとみんな笑顔になり笑い声に変わった。褒められていることはわかり子ども達も一緒に「GOOD JOB」親指を出し真似する姿が見られた。



5-②. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】日本語での手遊びはみんな好きで楽しく行っている。英語講師と一緒に参加していると英語の時間と思うのか英語ではと講師に聞いていた。英語での手遊びは、同じメロディだったが初めてだったのではじめは戸惑い見ているだけだったが、少しずつリズムをつかみやり始めると英語講師から「GOOD JOB」と言われ笑顔で行っていた。このように馴染みのある手遊び歌ならば日本語と英語を区別なく使え、初めて聞く歌の場合まずはじっと耳を傾けて聞き取ることをするというこぼの獲得の過程が良く理解できる活動だった。

【次回への問い】馴染みのある英語歌"Twinkle twinkle little star"を歌うことで子どもたちはどのように反応するのだろうか？

4-③. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>③"Twinkle twinkle little star(きらきらぼし)"英語で歌を歌う

*2歳児クラス：英語講師が"Twinkle twinkle little star(きらきらぼし)"英語で歌を歌う

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

英語講師が手をきらきらする場面では、みんなできらきらとして子ども同志で目を合わせて笑顔になっていた。「Twinkle Twinkle Little Star」とリズムにのり、英語講師と一緒に歌う子どもが多くいた。それ以外の歌詞になると「ハミング」または「なんとなく・歌う」子どもが多くいた。☆の形を手で上手に作っていた。



4-③. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>③「きらきらぼし」日本語で歌を歌う

*2歳児クラス：保育者が日本語で「きらきらぼし」を歌う。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

歌が好きなクラスなので、きらきら星（日本語）も大きな声で手振りも真似しながら楽しく行う姿がみられた。きらきら星では英語の歌も覚えていた子どももいて「Star」ときらきら手を振りながら言っている子どももいた。英語講師から「One more time」を聞くと人差し指をたて一回と言う子どももいたので意味がわかっているのか英語講師の手の真似をしたかどちらにもとれる動作だった。



5-③. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】キラキラ星のリズムは知っているが、英語での歌詞は難しく「Star」はしっかりと言い歌い講師の手を真似ていた。しかしこの英語でハミングやなんとなく歌うというのがとても大切で、とにかく口に出すことで、リズムをとり、口の動きを身体でつかみ次に"star"が出てきたように思った。日本語では大きな声で歌いキラキラ星に合わせ手をきらきらさせたり、星と「Star」が一緒と理解したようだった。

【次回への問い】当園では週2日ほぼ終日英語講師が在園するので、日本語が発達していく中で英語もどのように発達していくのか更に観察したい。子どもたちが自主的に英語や日本語をどのように使い分けていくのか観察したい。